

委員からのご意見と対応案（計画書の修正に係る部分）

No	委員	ご意見	対応案	修正を行う頁
1	宇仁菅委員	p3 および p28 プラスチック資源循環法の記載の部分で「令和3（2021）年3月閣議決定」とあるが、「6月公布」に修正すべき	P3 について「令和3（2021）年6月公布」に修正します。なお、P28 の同記載については、令和2 年度中の検討であったことから、現状の記載といたします。	P3
2	小松委員	P7 Plan、Action に実施主体が市とありますが、そこに市民、事業者も加えて欲しいです。DO といわれても自分で決めたことではないので本気さが違います。モチベーションが維持できにくいです。	計画の策定過程において市民アンケートや事業者ヒアリング等を通じての意見徴収により連携する部分はありますが、計画策定および見直しや改善の実施主体は市であるため、現状の記載といたします。	
3	伊藤委員	当然有料であると思われるが輸送費、処理費等の文を入れた方が訴求力があると思います。 あと、半分の行方は何ですか？	他自治体に廃棄物の処理を依存していることについて、環境への配慮の意識を高めたいことが目的であるため現状どおりといたします。また半分の記載が分かりにくいいため下記のとおり修正します。 「ごみを処理した後は、焼却灰や残渣が発生します。そのうち約半分は資源化をしておりますが、残りの半分については、本市に焼却灰等を最終処分する埋立地がないことから、他の自治体の最終処分場へ埋め立てをお願いしています。」に修正いたします。	p12
4	伊藤委員	資料編の中に説明はありますが、容器包装プラスチックと製品プラスチックの性質が読者には分からない	収集対象の説明の中に記載いたします。	p29
5	大西委員	3R と 2R は、それぞれに意味があるので統一する必要はないと思います。	拝承します。	p35 ほか
6	稲垣委員	2R の推進と 3R の推進が混在しているので、「3R の中でも特に 2R を推進していくということをもっと分かりやすく表現することが望ましい。	「なお、3R の中でも特に Reduce（リデュース：発生抑制）、Reuse（リユース：再使用）の 2R をリサイクルに先立って取り組むことで、ごみの発生量を減らすとともに、リサイクルについても継続的に取り組みを推進します。」を追記します。 「Reduce と Reuse の 2R を Recycle よりも優先的に推進し、環境負荷の低減を進めます。」に修正します。	P35、P45

7	宇仁菅委員	「低炭素社会」は「脱炭素社会」の方がよいと考えます。	ご指摘のとおり、修正いたします。	p35
8	宇仁菅委員	温暖化対策について、市の温暖化対策実行計画との整合は取れているのか。プラスチックのことも含めて、「ごみの発生量を減らす」とストレートに表現していただきたい。	方針2「廃棄物は、いったん発生すれば資源として循環的な利用を行う場合であっても少なからず環境への負荷を生じさせてしまいます。このため廃棄物処理に由来する環境負荷を低減させるためには廃棄物を発生させないことが最も効果的であるため、3Rの中でも特に Reduce（リデュース：発生抑制）、Reuse（リユース：再使用）の2Rをリサイクルに先立って取り組むことで、ごみの発生量を減らすとともに、リサイクルについても継続的に取り組みを推進します。」に修正します。	P36
9	伊藤委員	P46 にエンカル消費の説明はありますが一般に認知されているのでしょうか。欄外に説明かp46へ導いて欲しい。	方針2の1 1-②について記載が細かすぎることで、およびリデュース、リユースの順で取り組んでいただきたいことから1-①をリデュース（発生抑制）行動の推奨 1-②をリユース（再使用）の推奨に修正いたします。	p39
10	小松委員	P42 情報提供を「情報共有」の充実としたらどうでしょうか。情報提供というと一方的に情報を出すイメージがあります。 「共有」というと提供された情報をみんなで持ち合い理解するイメージがありますがいかがでしょうか。	不法投棄の情報を市にお寄せいただき共有するなど、市と市民の皆様で情報を共有する部分があるものの、情報の発信は市が中心となることから現状の記載といたします。	
11	宇仁菅委員	10行目以下を次のように修正できないでしょうか。 「また、温室効果ガスの排出量を削減するためには、まずプラスチックをはじめとするごみの発生量をそのものを減らし、最終的に焼却処理されるごみを減らしていくことが重要です。このため、ReduceとReuseの2Rを推進し、天然資源の消費を抑制するとともに、環境負荷の低減を進めます。 清掃工場でごみを焼却することで温室効果ガスが発生しますが、焼却によって得られる熱エネルギーを利用した廃棄物発電を行い、清掃工場で使用する電気を賄い、余った電気は売電することで、温室効果ガスの削減に寄与します。」	「温室効果ガスの排出量を削減するためには、まずプラスチックをはじめとするごみの発生量をそのものを減らし、最終的に焼却処理されるごみを減らしていくことが重要です。このため、リデュースとリユースの2Rをリサイクルに先立って推進し、天然資源の消費を抑制するとともに、環境負荷の低減を進めます。清掃工場でごみを焼却することで温室効果ガスが発生しますが、焼却によって得られる熱エネルギーを利用した廃棄物発電を行い、清掃工場で使用する電気を賄い、余った電気は売電することで、温室効果ガスの削減に寄与します。」へ修正いたします。	P45

12	鈴木委員	厨芥類に含まれる水分を十分切ってごみ出しを行う旨を追記	生ごみの水切りについて、コラムに掲載いたします。	p50
13	寺内委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る記載がないと思われる。タイムリーな話題であり、今後質問がでることも考えられますので、計画に記載した方がよいのではないのでしょうか。 ・他都市では事務所でのクラスター発生や職員の感染により、収集運搬等に支障がでた事例があります。 ・船橋市は、直営の収集運搬も行っているようですので、委託業者に指導するだけでなく、自らの直営職員の対策、事務所や収集車での対策を行う必要があると思います。 ・すでに対策は行われていると思いますので、その内容を記載する、また、国や廃棄物関係団体が発表しているガイドライン等がありますので、参考になると思います。 https://www.env.go.jp/recycle/waste/sp_contr/infection/coronakoho.html ・第2章第3節の3.3基本方針3に記載するのが適当と思われます 	<p>P51 8行目 「また、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症拡大時においても、感染拡大防止策を講じるなどにより、安全で安定した収集運搬及び処理体制の維持に努めます。」を追加します。</p> <p>P53 6行目 「新型コロナウイルス感染症が感染拡大する状況においては、『廃棄物に関する新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン』（令和2（2020）年9月）で示された市町村が取るべき措置等の内容を踏まえ、安全で安定した廃棄物の適正処理を行うことが重要となります。 新型コロナウイルス感染症にとどまらず、その他の多様な感染症等が発生した場合においても、廃棄物処理体制への影響を把握し、これまでの知見を活かした拡大防止策を講じ、安全で安定した収集運搬及び処理体制の維持に努めます。」</p>	P51、P53
14	鈴木委員	P54の「6.外食の食べ残しをなくしましょう！」に記載のある持ち帰りについて、保健所等の観点からするとあまり推奨するべきではないのではないかと。	<p>保健所へ確認したところ、P54の「6.外食の食べ残しをなくしましょう！」については「お店の方に確認して」といった記載があることから、支障はないとのことでしたが</p> <p>P64（3）事業者へのアプローチの中で②について「②衛生面に配慮した持ち帰り運動（ドギーバッグ、mottECO（もってこ）の実施）へ変更の意見があったため、修正いたします。</p>	P64
15	大西委員 山本委員	年号の間違い	「平成11（1999）年」に修正いたします。	P71、P74

委員からのご意見と対応案（答申）

No	委員	ご意見	対応案	備考
1	宇仁菅委員	4行目、「低炭素社会」は「脱炭素社会」の方がよいのではないか。	ご指摘のとおり、修正いたします。	
2	大西委員	3つを統合的に進めるの、3つが分かりにくい	の3つを削除します	1
3	天羽委員	検査体制の強化ではなく、分別の指導を優先すべきではないか	ご指摘のとおり、修正いたします。	
4	小松委員	食品ロス削減のためには市民一人ひとり、事業者、行政が・・・と「一人ひとり」を加えたいかがでしょうか。	後段に「それぞれの立場から」と記載しており、それぞれの立場からという記載から「一人ひとり」の行動であることが分かるため、現状の記載といたします。	3
5	平川委員	水質浄化に対する意識を持ってもらうために答申の中に意見を入れるべきではないか	4 水質浄化に対する意識啓発を追記します 「東京湾や印旛沼など閉鎖性水域の窒素・リンなどによる富栄養化を防止するため、くみ取り便槽、単独処理浄化槽から、より処理能力の高い高度処理型合併処理浄化槽への転換を推進するほか、市民、事業者に対し水質浄化に対する意識が高揚するよう周知、啓発を行うことを期待する。」を追記しました。	
6	小松委員	家庭系可燃ごみの戸別収集について、市民アンケートをしたと思いますが、もし5年も前でしたら状況が変わっているところがあるのでは。	5年前と現在および5年後では状況が変わることは他の施策でもあると考えますが、現状で考えられる課題を抽出し計画への記載や検討を求める記載としております。	付帯意見 1